

4 年間指導計画

令和6年度 道徳教育の全体計画

世羅町立甲山小学校

学校の実態
・ 全学年単学級で児童数は年々減少傾向にある。
地域の実態
・ 今高野山を中心に開けた歴史ある地域である。
・ 核家族が増えている。
教職員の実態
・ 経験年数の差が大きい。
保護者の願い
・ 学力の向上、規範意識の高揚
児童の実態
・ 挨拶や無言3などのよりよい行動を心掛ける児童が多い。
・ 指示や課題に対して一生懸命に取り組む。
・ 自律的な態度や表現力に課題がある。

各教科、外国語活動における道徳教育の指導方針

〔国語科〕

- ・ 互いの立場を考え尊重しながら言葉で伝え合う力を高める。
- ・ 思考力や想像力及び言語感覚を養う。
- ・ 国語を尊重する態度を育てる。

〔社会科〕

- ・ 先人の働きなどについて理解を図り、地域社会に対する誇りと愛情を育てる。
- ・ 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てる。
- ・ 公民的資質の基礎を養う。

〔算数科〕

- ・ 見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てる。
- ・ 数理的な考えを生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

〔理科〕

- ・ 自然を愛する心情、生命を尊重する心情、真理を追究する態度を育てる。

〔生活科〕

- ・ 自分を見つめる自立への基礎を養う。

〔音楽科〕

- ・ 美しいものや崇高なものを尊重する心情、伝統文化を尊重する心情を育てる。
- ・ 自然や四季の美しさを感じ、夢や希望をもって生きようとする意欲をもたせる。

〔図画工作科〕

- ・ 美しいものや崇高なものを尊重する心情、造形的な創造による豊かな情操を養う。

〔家庭科〕

- ・ 生活習慣の大切さを知り、生活をよりよくしようとする意欲を育て、家族愛を育む。

〔体育科〕

- ・ 運動を粘り強く行う態度を育て、集団でするゲームへ協力する態度を育てる。
- ・ 生活習慣を身に付ける。

〔外国語活動〕

- ・ 日本人としての自覚を持って世界の人々との親善に努める態度を育てる。

家庭・地域との連携

- ・ 協力体制づくり
- ・ 道徳の授業公開
- ・ 広報活動
- ・ 保護者や地域の方の参加や協力

- ・ 教師と児童、児童相互のよりよい人間関係の充実
- ・ 学習環境の整備

学校教育目標

夢や目標をもち、
主体的に学び続ける児童の育成

道徳科の重点目標

【第1・2学年】

- ・ 善いことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと
A 善悪の判断・自律
- ・ 友達と仲良くし、助け合うこと
B 信頼・友情

【第3・4学年】

- ・ 自分の考えや意見を相手に伝えるときにも、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること
B 相互理解・寛容

- ・ 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやりぬくこと
A 希望と勇気努力と強い意志

【第5・6学年】

- ・ 自分の考えや意見を相手に伝えるときにも、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること
B 相互理解・寛容

- ・ 真実を大切にし、物事を探求しようとするところをもつこと
A 希望と勇気努力と強い意志

道徳科の指導の方針

各教科等における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳実践力を育成する。

年間指導計画を作成する際の観点

主題の設定と配列、計画的、発展的指導、内容の重点的指導、各教科等、体験活動との関連的指導、

重点目標にかかわる内容の指導の工夫

- ・ 主体的・対話的で深い学びを目指した道徳科授業の工夫
- ・ 地域を素材とした資料の活用とゲストティーチャー等の人材の活用
- ・ 道徳参観日の開催（7月）

道徳教育の推進体制

校長の方針

- ・ 道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の実施

協力体制の充実

- ・ 道徳教育推進教師の位置づけ
- ・ 道徳教育推進委員会

道徳教育推進教師の役割

- ア 道徳教育の指導計画の作成に関すること
- イ 全教育活動における道徳教育の推進、充実に関すること
- ウ 道徳科の充実と指導体制に関すること
- エ 道徳用教材の整備・充実・活用に関すること
- オ 道徳教育の情報提供や情報交換に関すること
- カ 授業の公開など家庭や地域社会との連携に関すること
- キ 道徳教育の研修の充実に関すること
- ク 道徳科における評価に関すること

日本国憲法 教育基本法 学校教育法
教育関連法規 学習指導要領
広島県重点施策 世羅町重点施策

時代や社会の要請や課題

- ・ 子どもたちに、他者、社会、自然、環境とのかかわりの中で生きるという実感や達成感を深めさせ、自分への自信をもたせること
- ・ 子どもたちの基本的な生活習慣の確立と規範意識、他者への思いやりなどの道徳性を養うこと

総合的な学習の時間における道徳教育の指導の方針

- ・ 現代社会の課題などに取り組むことを通して、自己の生き方を考えることができるようにする。
- ・ 主体的に判断して学習活動を進めたり、粘り強く考え解決しようとしたりする資質や能力、自己の目標を実現しようとしたり、他者と協調して生活しようとしたりする態度を育てる。

道徳科との関連

- ・ 道徳科における道徳的価値の自覚を深めたり、道徳的価値の自覚を図ったりする。

特別活動における道徳教育の指導の方針

〔学級活動〕

- ・ 望ましい人間関係の形成やよりよい生活づくりに参画する態度にかかわる道徳性を身に付ける。

- ・ 自らの生活を振り返り、自己の目標を定め、努力して健全な生活態度を身に付けようとする態度にかかわる道徳性を身に付ける。

〔児童会活動〕

- ・ 異年齢による望ましい人間関係の形成やよりよい学校生活づくりに参画する態度にかかわる道徳性を身に付ける。

〔クラブ活動〕

- ・ 異年齢による望ましい人間関係の形成や個性の伸長、よりよいクラブ活動づくりに参画する態度にかかわる道徳性を身に付ける。

〔学校行事〕

- ・ 望ましい人間関係、自律的態度、心身の健康、協力、責任、公德心、勤労、社会奉仕などにかかわる道徳性の育成を図る。

〔道徳の時間との関連〕

- ・ 道徳実践力と道徳実践の有機的な関連を図る指導を行う。

特色ある教育活動や豊かな体験活動における道徳教育の指導の方針

基本的な生活習慣、社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断できるように道徳性の育成を図る。
「わたしたちの道徳」を効果的に関連づける。